

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

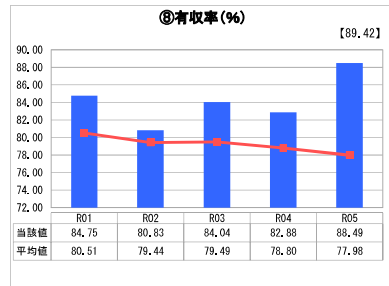
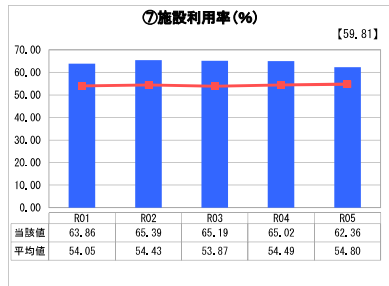
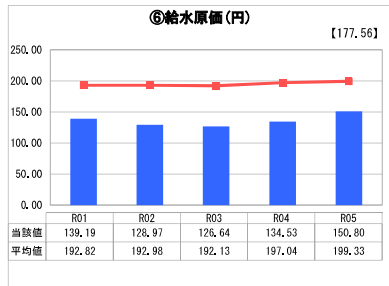
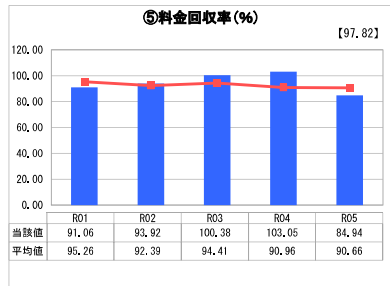
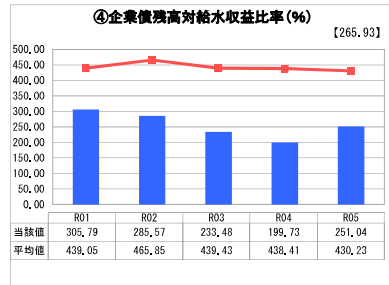
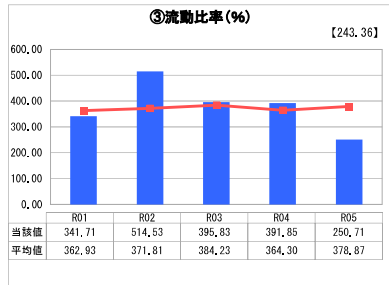
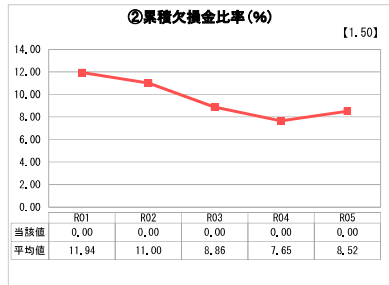
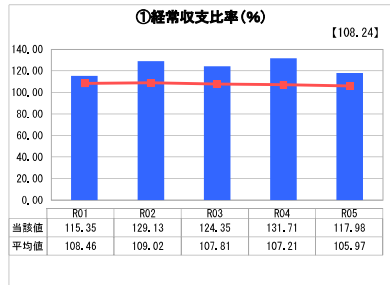
埼玉県 美里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	77.88	99.60	2,567	

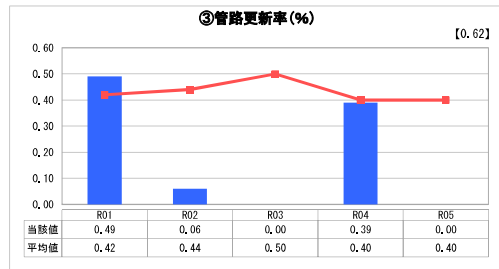
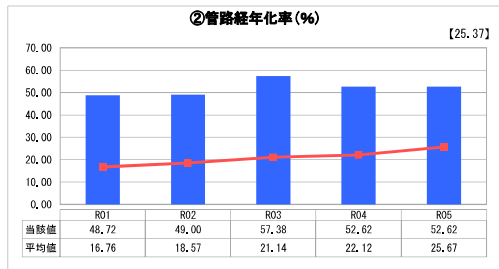
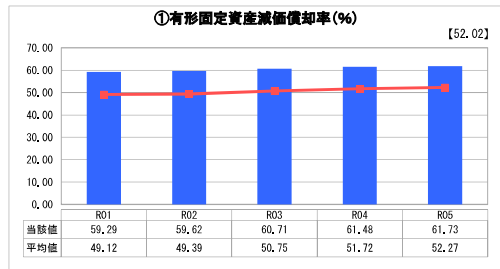
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,819	33.41	323.83
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,746	32.84	327.22

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[ ] 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率  
修繕費の増加によりおよそ14ポイント減少しているが、100%以上の数値で推移しており経営は適切である。しかし一般会計からの繰入金で費用を賄っているため、料金の見直しを検討する必要がある。
- ② 流動比率  
工事の未払金を計上したため、前年よりも減少している。100%を上回ってはいるが、料金の見直しを検討する等財源を確保し計画的に工事を実施する。
- ③ 企業債残高対給水収益比率  
企業債の償還よりも新規の借入が上回った。さらに基本料金減免により給水収益が減収となったため、前年よりも増加している。計画的な企業債の借入を実施していく必要がある。
- ④ 料金回収率  
基本料金減免を行ったことにより、係給単価が低くなった。一般会計繰入金で給水に係る費用が賄われているため、料金の見直しを検討する。
- ⑤ 給水原価  
修繕費が増加したため、前年よりも増加している。
- ⑥ 施設利用率  
類似団体平均値を上回っており、施設の利用状況や規模が適正であると考えられる。給水人口がやや減少傾向にあるため、施設の縮小化を検討する必要がある。
- ⑦ 有収率  
有収率：漏水調査等により、前年よりも5.61ポイント増加した。今後も漏水調査や計画的な更新工事を実施する。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率  
財源と人員の不足によって施設や管路の更新が遅れ、法定耐用年数に近い固定資産が増えているため、類似団体平均値を上回っている。水道ビジョンに基づき、施設や管路の更新を実施する必要がある。
- ② 管路経年率  
財源と人員の不足によって管路の更新が遅れ、法定耐用年数を経過した管路が増えているため、類似団体平均値を上回っている。水道ビジョンに基づき、管路の更新を実施する必要がある。
- ③ 管路更新率  
更新工事について、関連する道路工事や下水道工事の遅延により、次年度に繰越したことによる。美里町水道ビジョンに沿った管路の早期更新を実施する必要がある。

### 全体総括

経常収支比率は平均値を上回ったが、料金回収率は平均値以下となった。これは基本料金減免の影響であると考えられるため、経営の健全性・効率性については概ね保たれているといえる。しかし一般会計からの繰入金に依存している状態のため、給水収益のみで水道事業の経営を行えるように今後料金の見直しを検討する。老朽化については、類似団体平均値と比べて進んでいる現状であった。有形固定資産減価償却率が高く、管路経年率と管路更新率が低いため、美里町水道ビジョンに沿った施設及び管路の早期更新を実施する必要がある。

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

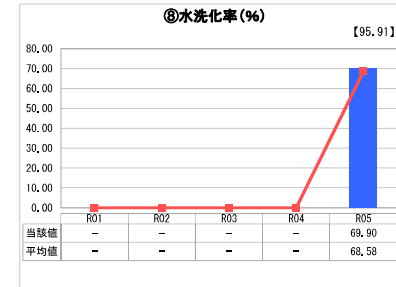
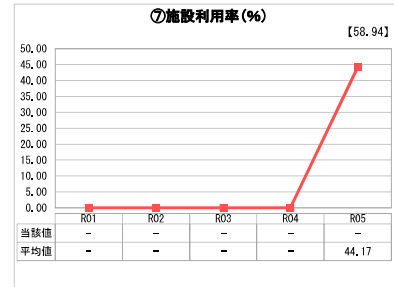
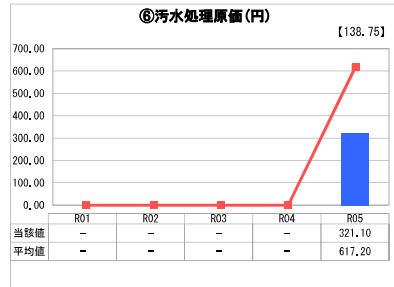
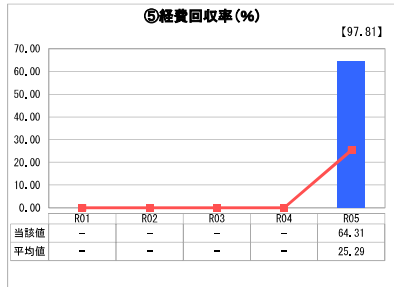
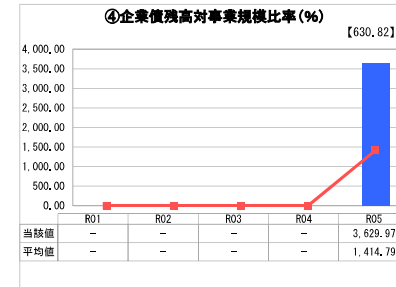
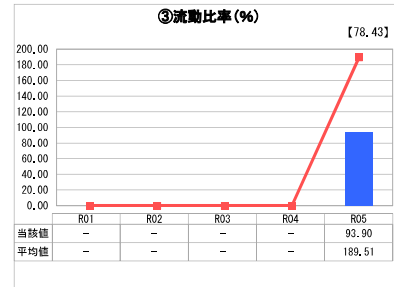
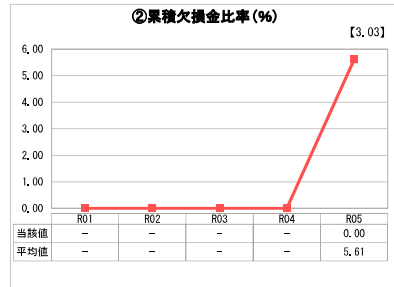
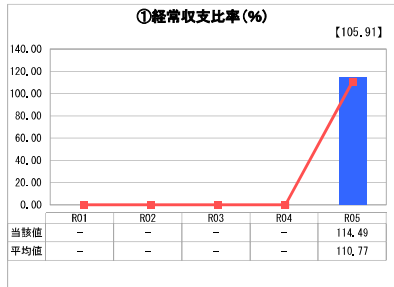
埼玉県 美里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	57.28	20.63	100.00	2,563

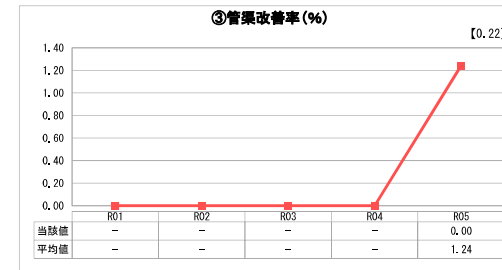
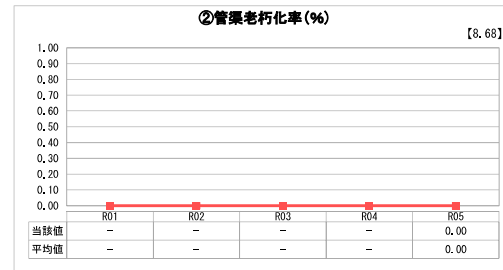
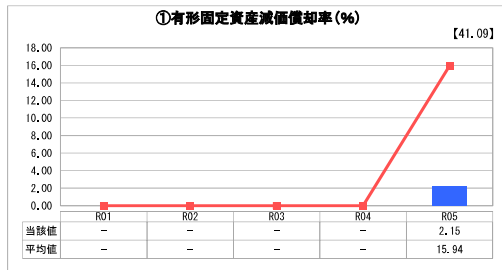
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,819	33.41	323.83
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,226	1.56	1,426.92

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度に法適用したため、令和4年度以前の数値が未記載になっている。  
 ① 経常収支比率  
 令和4年度に料金改定を行い、段階的に料金の増加が見込まれているため、比率も増加していくと考えられる。しかし、一般会計からの繰入金で大部分の費用を賄っている状況であり、今後料金改定を検討する必要がある。  
 ② 累積欠損金比率  
 累積欠損金は発生しておらず、健全な状況と考えられる。  
 ③ 流動比率  
 短期的な支払能力を示す値で、100%を下回っているため、支払能力が十分あるとは言えない状態である。経営改善を行う必要がある。  
 ④ 企業価値高対事業規模比率  
 企業価値高の規模を表す指標で、平均値と比較し、高い水準であり、使用料収入に対し残高が大きい状況である。接続率向上のための施策を行い、経営の健全性確保に取り組んでいく。  
 ⑤ 経費回収率  
 使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを示す指標であり、類似団体平均値よりも高い水準ではあるが、100%を下回っているため使用料の改定検討や、経費の削減が必要である。  
 ⑥ 汚水処理原価  
 汚水処理に係るコストを示す指標であり、類似団体平均値よりも低い水準となっている。加入促進等により接続率を向上させ、有収水量の増加を図る必要がある。  
 ⑦ 施設利用率  
 処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を示す指標であり、新規住宅の接続と既存住宅への加入促進により、接続件数は増加傾向にある。水洗化率の向上は収益の向上に結びつくため、加入促進等を行いさらなる接続率の向上を図る。

### 2. 老朽化の状況について

平成25年に供用開始しており、比較的新しい管渠であるため、ハード面での老朽化対策は不要であったが、令和5年に旧農業集落排水処理区の2処理区を接続したことにより、管渠の点検や人孔の腐食状況、地盤沈下等の状況確認を定期的に行い、老朽箇所を把握したうえで今後対策を検討する必要がある。  
 また、法適用したため経営状況、固定資産台帳を把握しストックマネジメント計画及び経営戦略の見直しを行っていく必要がある。

### 全体総括

経常収支比率が100%を超えており、概ね健全であると考えられるが、短期的な支払能力不足や、経費を使用料で賄えていない点など課題があるため、適正な料金収入の確保といった経営改善のための検討が求められる。  
 また、公衆衛生の向上や河川等の水質保全による良好な環境の創造を目的としつつ、安定した事業経営を行うために、令和4年から料金改定を行っているが、使用料収入のさらなる増加のため、加入促進を積極的に行っていくことにより、接続件数の増加を図る必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

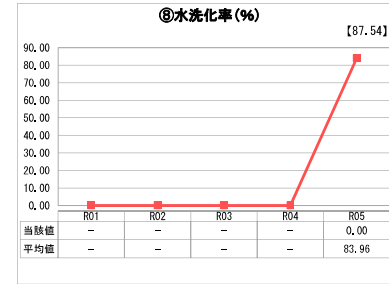
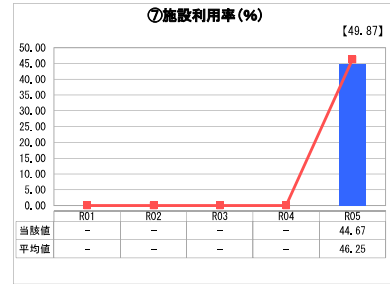
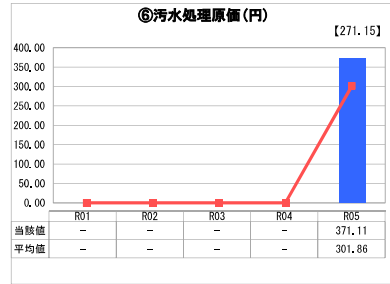
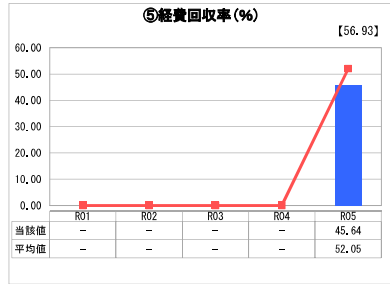
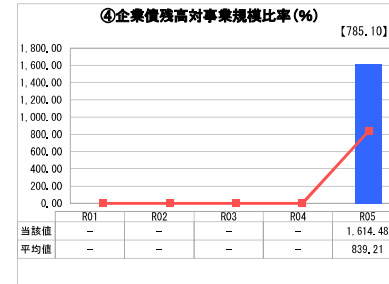
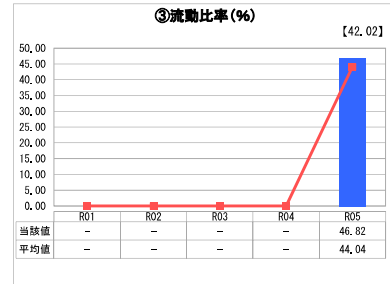
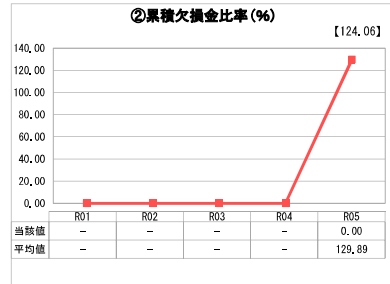
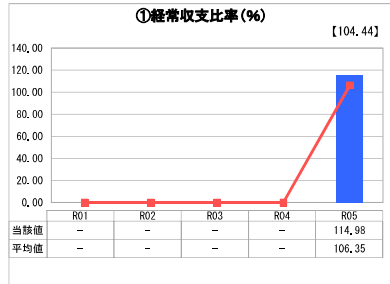
埼玉県 美里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	82.28	27.90	100.00	3,741

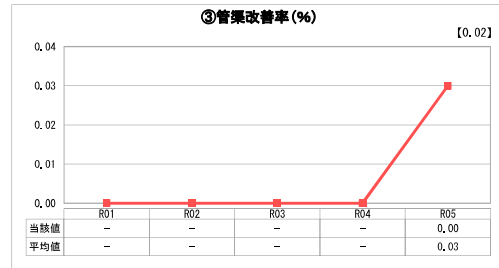
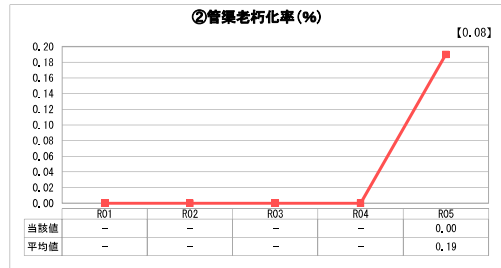
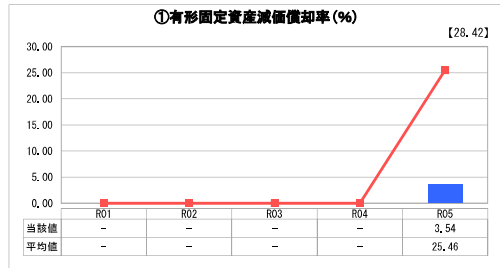
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,819	33.41	323.83
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,010	2.39	1,259.41

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
□ 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度に法適用したため、令和4年度以前の数値が未記載になっている。比率も増加していくと考えられる。

①経常収支比率  
令和4年度に料金改定を行い、段階的に料金の増加が見込まれているため、比率も増加していくと考えられる。しかし、一般会計からの繰入金で大部分の費用を賄っている状況であり、今後料金改定を検討する必要がある。

②累積欠損金比率  
累積欠損金は発生しておらず、健全な状況と考えられる。

③流動比率  
短期的な支払能力を示す指標で、100%を下回っているため、支払能力が十分あるとは言えない状態である。経営改善を行っていく必要がある。

④企業債務高対事業規模比率  
企業債務高の規模を表す指標で、平均値と比較し、高い水準であり、使用料収入に對し高過ぎる状況である。接続率向上のための施策を行い、経営の健全性を確保し、経費削減が必要である。

⑤経費回収率  
使用料で回収すべき経費などの程度使用料で賄えているかを示す指標であり、100%を下回っており、類似団体平均値よりも低い水準となっているため、使用料の改定検討や、経費の削減が必要である。

⑥汚水処理原価  
汚水処理に係るコストを示す指標であり、類似団体平均値よりも高い水準となっている。加入促進等により接続率を向上させ、有収量の増加を図る必要がある。

⑦施設利用率  
施設利用者の加入が進まないため、類似団体の平均値を下回っている状況である。今後、個別訪問・DM・広報誌などにより加入促進を行い、接続率を向上させる必要がある。

⑧水洗化率  
今年度転記漏れのため、本来の水洗化率は74.16%である。類似団体平均値よりも低い水準となっているため、さらなる加入促進に努める必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

美里町の農業集落排水事業は平成7年度に十条処理区、小栗処理区、平成9年度に広木処理区、平成10年度に沼上処理区、円良田処理区、平成16年度に駒衣処理区、平成25年度に南部中央処理区が完成し、全7処理区が供用開始となったが、老朽化・維持管理コストの観点から令和5年度に十条処理区及び沼上処理区が公共下水道へ接続したことにより、現在全5処理区での供用となっている。すでに供用開始から約20年経過している処理区もあり、施設の老朽化により維持管理費は増加傾向にある。このため、最速整備構想や維持管理適正化計画を基に、施設の統廃合やダウンサイジングを検討するほか、適正な機能保全を行い、維持管理費削減や施設更新費を抑えることを目指す。

### 全体総括

現状、浄化槽が健全に機能しているなどの理由により、接続率が低い水準にある。一方で、施設の経年劣化により維持管理費は増加傾向にあるため、使用料収入では汚水処理費の全額を賄うことが出来ていない状況である。このため、今後も公衆衛生の向上や河川等の水質保全を目的としつつ、安定した事業運営を行うためには、使用料収入の確保、維持管理費の削減を図るとともに、施設更新費の抑制に向けた取り組みが必要である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。